

ホシガラス

Nucifraga caryocatactes japonica

スズメ目 カラス科

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし



全国的には、亜高山帯から高山帯に周年生息し、冬は標高のやや低い場所にも移動する。針葉樹やブナなどの種子や昆虫などを食べる。餌を樹木の割れ目などに蓄える習性がある。胸、腹、背に無数の白い斑点があり、飛ぶと下尾筒と尾の先の白が目立つ。にごった声で「ガーガー」と鳴く。九州中央山地と祖母・傾山系は繁殖の南限となっており、個体数は少ない。渡りをしないため、九州地域個体群として生息地が孤立している。

(写真：澤岡潤治 文：島岡 章)

県内分布 祖母傾山系に生息する留鳥。

分布域 北海道、本州，四国，九州(熊本・大分・宮崎)で留鳥。

中国南部・北部・東北部，シベリア，朝鮮半島，台湾に留鳥。